

令和2年度

坂井市立三国病院改革プラン評価書

令和4年3月

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会



## 評価書

【新改革プランP12～P14 数値目標、収支計画、具体的取り組みの評価】

### ◆ はじめに

- ・坂井市立三国病院改革プラン評価委員会は、坂井市立三国病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)の点検・評価を実施した。

### ＜評価委員の主な意見＞

- ・コロナ禍で外来患者が減る中で、経営改善のため透析患者の増を図ること。
- ・今回の改革プランにかかる評価については令和2年度が最終となるが、委員からの意見・指摘事項を整理・検討し、今後の病院改革の取組みに活かすこと。

- ・評価にあたっては、改革プランに掲げる項目の数値目標について、坂井市立三国病院が行った自己評価を基礎として次の4段階評価基準による評価を行った。

### <評価説明>

評 価	評価の基準	
◎	計画、目標数値を大きく上回った	(+10%超)
○	計画、目標数値をほぼ達成した	(+10%まで)
△	計画、目標数値をやや下回った	(-10%まで)
×	計画、目標数値を大きく下回った	(-10%超)

### <評価>

#### ・経営の効率化

##### 【新改革プランP12 1. 経営指標に係る数値目標】

- ・◎が3項目、○が4項目、△が4項目、×が2項目となった。
- ・収支改善に関するものとして、経常収支比率は目標値を初めて上回り達成した。
- ・経費削減に関するものとして、職員給与費比率は、職員数の増等により目標値の達成に至らなかった。
- ・収入確保に関するものとして、一日平均入院患者数、病床利用率は、昨年度に続き目標値を上回った。一方で、一日平均外来患者数はコロナ禍の影響による受診控え等の影響により、目標値を下回る結果となった。
- ・収支改善に関するものについては、目標値をわずかに下回ったが、入院収益の増収により前年度より達成率は向上した。
- ・経営の安定に関するものとして、経常損益は補助金等の医業外収益の増により、目標値を上回り収益が生じる結果となった。

##### 【新改革プランP14 4. 令和2年度（平成32年度）までの収支計画】

- ・◎が1項目、○が1項目、×が4項目となった。  
入院収益の増収、一般会計補助金の増により、経常収益の実績値は計画値を上回った。
- ・給与費等の増により医業費用、経常費用は増加した。
- ・経常収益の増により、純損益は計画値を上回り黒字となった。
- ・一般会計補助金は、外来収益の減少の補填のため増額したことにより、実績値は計画値を下回った。

##### 【新改革プランP13 3. 目標達成に向けた具体的な取り組み】

- ・○が5項目となった。  
いずれの項目も、前年度において達成し、今年度も引き続き実施した。

## 経営の効率化

## 【新改革プランP12 1. 経営指標に係る数値目標の設定】

項目	R2		達成率	評価
	目標値	実績値		
① 収支改善に関するもの				
経常収支比率	100.0	107.1	107.1%	○
医業収支比率	86.5	83.7	96.8%	△
② 経費節減に関するもの				
職員給与費比率	60.1	68.0	88.4%	×
薬剤費比率	8.5	6.1	139.3%	◎
③ 収入確保に関するもの				
一日平均入院患者数（人）	75.0	80.2	106.9%	○
一日平均外来患者数（人）	270.0	216.6	80.2%	×
病床利用率（%）	70.0	76.4	109.1%	○
医師1人一日平均入院患者数（人）	7.0	6.9	98.6%	△
看護師1人一日平均入院患者数（人）	1.0	0.9	90.0%	△
④ 経営の安定に関するもの				
医師数（人）	12	11	91.7%	△
看護師数（人）	63	66	104.8%	○
現金保有残高（百万円）	130	151	116.2%	◎
経常損益（百万円）※	0	151	115.0%	◎

※達成率は、実績が0円以上50百万円未満の場合を105%、50百万円以上100百万円未満の場合を110%、100百万円以上200百万円未満を115%、200百万円以上を120%以上とした。

## 【新改革プランP 1 4 4. 令和2年度までの収支計画】

【単位：百万円】

項 目	R 2		達成率	評価
	計 画	実績値		
〔収益的収支の主なもの〕				
医業収益 a	1,547	1,696		◎
医業外収益 b	340	598		
経常収益 a+b (A)	1,887	2,294	121.6%	
医業費用 c	1,789	2,026		×
医業外費用 e	98	117		
経常費用 c+e (B)	1,887	2,143	86.4%	
経常損益 (A)-(B) (c)	0	151		○
特別損益 (e)	0	2		
純損益 (c)+(e)	0	149		
累積欠損金	△ 2,550	△ 2,517	101.3%	
〔資本的収支の主なもの〕				
企業債 a	100	6		×
他会計出資金 b	125	102		
収入計 a+b (A)	225	108		
建設改良費 c	100	82		
企業債償還金 d	236	166		
支出計 c+d (B)	336	248		
不足額 (A)-(B)	△ 111	△ 140	73.9%	
補填財源				
(損益勘定内部留保資金)	△ 111	△ 140	73.9%	×
〔上記計画に含まれる一般会計補助金の総額〕				
一般会計補助金	500	611	77.8%	×
うち基準内	420	420		
うち基準外	80	191		

## 【新改革プランP13 3. 目標達成に向けた具体的な取り組み】

目 標	実 績	評価
(1) 民間的経営手法の導入		
・ 経営コンサルタント導入に伴う経営指導などによる財務の改善	・ 経営スキルの高い民間人事務局長を職員として採用し、財務の改善に努めた。 【令和元年度において実施済み】	○
・ 地域包括ケア病床導入支援サポート業務委託などによる早期導入の実現	・ 上記により採用した事務局長による経営分析を実施した。 【令和元年度において実施済み】	○
・ 医事専門員による診療報酬のチェックなどの医事業務の改善	・ 民間病院でキャリアのある医事担当職員を採用し、業務改善に努めた。 【令和元年度において実施済み】	○
(2) 経費削減・抑制対策		
・ 多くの部門が民間に委託されており、さらなる民間委託は困難であるが、新規の医療機器導入などについてはコスト計算したうえで検討を行う。	・ 専門性の高い医療機器にかかる保守・点検・管理・修理業務、また、購入にかかる業務の担当者として、民間企業でキャリアのある職員を採用し、医療機器にかかる経費の節減に努めた。 【令和元年度において実施済み】	○
(3) 収入増加・確保対策		
・ 地域包括ケア病床の導入、地域医療連携の強化などにより、入院患者の増加を図る。なお、診療報酬における加算を確保できるよう努める。	・ 医療に関する専門的知識に精通する職員を採用し、入院患者の獲得、診療報酬の加算や、病院運営の効率化に努めた。 【令和元年度において実施済み】	○

## ・診療科別収益状況(入院) &lt;消費税込&gt;

【単位：人、千円】

診療科	年度	元年度決算(A)		2年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益
内 科		18,788	611,033	20,290	669,104	1,502	58,071
外 科		999	35,149	1,210	42,356	211	7,207
小 児 科		288	8,472	194	6,103	△ 94	△ 2,369
産 婦 人 科		915	48,008	1,072	56,647	157	8,639
整 形 外 科		5,932	201,201	6,181	224,068	249	22,867
眼 科		398	33,143	324	27,022	△ 74	△ 6,121
合 計		27,320	937,006	29,271	1,025,300	1,951	88,294

※ 延べ患者数は在院患者数を指す。

## ・診療科別収益状況(外来) &lt;消費税込&gt;

【単位：人、千円】

診療科	年度	元年度決算(A)		2年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益
内 科		25,636	232,115	22,693	224,617	△ 2,943	△ 7,498
透 析 内 科		3,650	106,760	4,584	117,971	934	11,211
外 科		1,626	12,504	1,547	12,165	△ 79	△ 339
小 児 科		8,993	34,566	6,441	22,870	△ 2,552	△ 11,696
産 婦 人 科		5,441	30,974	5,172	28,881	△ 269	△ 2,093
整 形 外 科		9,880	79,903	8,772	60,882	△ 1,108	△ 19,021
脳 神 経 外 科		1,214	8,335	1,065	7,361	△ 149	△ 974
眼 科		5,836	33,403	5,051	27,790	△ 785	△ 5,613
耳 鼻 咽 喉 科		4,593	20,357	3,633	15,833	△ 960	△ 4,524
皮 膚 科		3,170	8,457	2,417	6,470	△ 753	△ 1,987
泌 尿 器 科		1,657	11,048	1,647	11,461	△ 10	413
合 計		71,696	578,422	63,022	536,301	△ 8,674	△ 42,121



・平成29～令和2年度の損益状況  
(減価償却費・繰延勘定償却を含む) <消費税抜>

(単位：千円)

項 目	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	対前年度 比較
医業収益	1,539,267	1,515,737	1,636,396	1,696,126	59,730
入院収益	777,450	785,897	934,415	1,022,534	88,119
外来収益	618,163	588,523	579,028	535,306	△ 43,722
その他医業収益	143,654	141,317	122,953	138,286	15,333
(うち一般会計負担金)	67,418	68,866	55,732	56,130	398
医業外収益	341,748	357,906	365,290	598,808	233,518
(うち一般会計負担金・補助金)	310,427	328,333	332,662	566,978	234,316
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,881,015	1,873,643	2,001,686	2,294,934	293,248
医業費用	1,900,708	1,930,897	1,938,394	2,025,803	87,409
給与費	1,038,156	1,059,480	1,098,724	1,153,120	54,396
材料費	247,684	239,389	237,452	223,509	△ 13,943
(うち薬品費)	131,092	127,549	122,977	103,345	△ 19,632
経費	424,818	455,118	456,233	466,123	9,890
減価償却費	185,577	172,195	141,181	178,874	37,693
その他医業費用	4,473	4,715	4,804	4,177	△ 627
医業外費用	114,765	113,998	118,271	117,581	△ 690
支払利息	50,674	48,398	46,048	44,447	△ 1,601
繰延勘定償却	0	0	0	0	0
その他医業外費用	64,091	65,600	72,223	73,134	911
経常費用(医業費用+医業外費用)	2,015,473	2,044,895	2,056,665	2,143,384	86,719
経常損益	△ 134,458	△ 171,252	△ 54,979	151,550	206,529
特別利益				22,529	22,529
特別損失	5,671	709	1,676	24,881	23,205
純損益	△ 140,129	△ 171,961	△ 56,655	149,198	205,853

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 名 等
委員長	戸 板 進	坂井市議会 教育民生常任委員会 委員
委員	松 本 順 雄	坂井地区医師会 三国ブロック代表
〃	濱 中 妃 史	三国地区市民代表
〃	飴 嶋 慎 吾	坂井市立三国病院長

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 開催経過

開 催 日	議 題
令和4年3月17日(木)	委員長の選出 令和2年度改革プランの点検・評価について